



地域を育み、大陸をつなぐ

2010～2011年度 国際ロータリーのテーマ
レイ・クリンギンスミス

RI第2510地区

留萌ロータリークラブ 会報

2010 ▶ 2011 WEEKLY REPORT

会長／二ノ宮清信 幹事／森 俊二

留萌ロータリークラブ
会長テーマ

みんなで50周年を祝い ロータリーの輪を拡げよう!!

プログラム

- 本日
会員卓話「介護現場の実情とわかりやすい介護施設の選び方について」 西谷 英樹 会員
- 次週予定
－法定休会－

会員誕生日
5月10日 中川 勝美

配偶者誕生日
5月9日 佐藤 裕子
5月10日 行徳智歌子

No. 2461

第38回 4月27日

出席報告

前例会

会員総数	44名
出免会員	8名
出免出席	5名
出席会員	26名
出席率	73.81%

前々例会

第35回 3月30日

欠席会員	7名
内メイクアップ	0名
修正出席率	82.50%

例会／毎週水曜 12:15～13:15 留萌産業会館2F

📎 会長報告

1. 4月15日に臨時理事会を開催し、次の事を承認いたしました。
- ①留萌開運郵便局長であった佐藤寛明さんの後任である堀光輝さんの会員選挙の結果と入会の決定。
 - ②先に中止と決定した50周年記念式典・懇親会の中止後の表彰関係、記念誌作成、予算、「東日本大震災」への義援金などの実行方法について承認。

📎 幹事報告

- ・ガバナー月信、4月号を受領しました。新会員案内に阿部会員が掲載されています
- ・2009～2010年度、地区要覧を受領いたしました。

た。

■新会員紹介■

堀 光輝 会員

〈推薦者代表挨拶 中川会員/増強委員〉

この度は堀光輝さんの会員選挙に対し、会員皆様のご協力に感謝いたします。

推薦者は二ノ宮会長、清水会員、串橋増強委員長と私の4人です。

堀光輝さんは、稚内市で昭和44年7月17日にお生まれになりました。昭和63年3月に稚内高校を卒業され、同年丸松郵便局に入局されました。

平成19年4月に問寒別郵便局長になり、この春の異動で元会員の佐藤寛明開運郵便局長の後任として4月に着任されました。

家族構成は、奥さんの美由貴さん。長男・雄

飛君(大学1年)、二男・隼人君(高校2年)、三男・伊吹君(小学5年)の5人家族です。

趣味は車・ドライブ、そば打ち初段の腕前で、明澤会員と同じ段ですので今年のそば例会は楽しみです。

最後に堀会員が早くクラブに慣れるよう会員皆様のご指導をお願いし、紹介とさせていただきます。



ただ今、紹介いただきました堀光輝です。

先日の「漁火例会」に参加させていただき、非常に楽しく有意義な時間を過ごさせていただきありがとうございました。



先ほど二ノ宮会長からバッジを授与され、「本当にこのクラブに入ることができたんだ」と感銘深く思っております。

何分にもこういったクラブに加入するのは初めてですので、皆様方のご指導を賜りながら早く慣れたいと思っておりますのでよろしく願いいたします。

委員会報告

50周年実行委員会理事会報告 清水総務委員長

先日50周年実行委員会において決定しました、記念プログラムの内容をご報告いたします。

《プログラム》

実施日 平成23年6月8日(水)

振替休会を変更し通常例会の中で行います。

- ①会長挨拶
- ②歴代会長・幹事表彰
- ③記念事業 目録贈呈
- ④記念撮影

※義援金について

復興支援についての文書より(一部抜粋)

R I 第2510地区2010-2011年度佐々木ガバナー
2011-2012年度熊澤ガバナー

私どもは、かつて色々な災難にある時、ロータリアンとしての志と連帯で絆を強く結び、協力し合ってきました。被災された地域については、僅かながらも報道で知ることはできますが、我々仲間のために私たちに出来ることを精一杯行い、共に痛みを分かち合っていきたいと存じます。

上記の趣旨に実行委員会参加者の賛同を得ましたので、「国際ロータリー第2510地区大震災救援プロジェクト委員会」と決定いたしましたことをご報告いたします。

※委員会構成の変更について

記録委員会(佐藤寛明会員退会と増援のため)

委員長：鈴木

委員：久木、深瀬、高橋、河部、田中、高田、佐藤(潔)、中川、清水

愛好会

P C 愛好会 河部会員

5月18日にP C 愛好会を開催いたします。開催場所、時間については後日ご連絡いたします。

内容は出席記録のエクセルでの処理方法と写真・映像ソフトの使い方などを予定しています。多くの方のご参加をお待ちしております。

ニコニコBOX

- ・地区協議会皆で参加してきました 鈴木会員
- ・50周年事業にあたり記念品を購入していただきました 遠藤・山本・高橋会員
- ・「漁火例会」のDVD、田中作品と河部作品をいただきました ありがとうございます 行徳会員
- ・長期間欠席しました 佐藤(潔)会員
- ・誕生日のソングをいただきありがとうございます どうぞよろしく 齋藤(清)会員

前回	639,500円
今回	13,000円
累計	652,500円

プログラム……………

来賓卓話「ブンヤのよもやま話」

株式会社北海道新聞社 留萌支局長

篠原 明典 様

【略歴】 1984年 早稲田大学法学部卒業
株式会社北海道新聞社入社
帯広支社報道部
1989年 本社社会部
1995年 東京支社政経部・社会部
2001年 美幌支局長
2004年 旭川支社デスク
2005年 本社札幌圏部デスク
2007年 東京支社社会部デスク
2009年 留萌支局長

紹介者の長谷川会員とは2年近いお付き合いで、どこかで話をさせてくれないかと言いましたところ、こういう機会をいただきました。ありがとうございます。

「ブンヤのよもやま話」ということで、ブンヤというのは皆さんご存知の通り新聞記者の別称のようなものです。

今、新聞・テレビをみますと3・11で日本全国がリセットされて世界から注目されています。そこで今日は東日本大震災に関係したお話をさせていただきます。と思っています。

今回、東日本大震災が起きました。これは自然災害で多くの方が犠牲になりましたので、私どもの紙面でもテレビ欄を中に入れて展開させていただきました。東京紙も同様です。

まずは、被害者の嘆き悲しみ、被災の状況等を紙面で展開させていただきました。

しかし、皆さん新聞、テレビをご覧になっていて疑問に思ったことはありませんか。

いちばん頭にくるのは放射能や放射線の単位のことです。今その量を受けたら大丈夫なのか、ということ伝えるべきなのにそういう話をしない。あと、専門家が出て来ても想定外であると話を終わらせてしまうことです。

また、災害に対する初頭の態勢が遅れたとすれば、地震というのは自然災害ではなく人災と

言うしかないと思います。

皆さんに言いたいのは、現場では私たちの同僚も現地に入り地べたを這うような取材をし、被災者・行方不明者の嘆き、悲しみ、怒りを伝えておりますが、その根本への批判が弱いのではないかということです。

ただ、現場の記者は立ってもずっでもという精神でやっておりますので、是非紙面を読んでもらうのと同時に、行間の思いも読んでいただきたいと思います。また新聞に対し、もうちょっとしっかりしてほしいという激励もしてほしいと思います。

この電力の最大のピークに当たる7・8月の夏に向けて計画停電はどうなるのか。

知り合いのジャーナリストなどに聞きましても、東京も企業も大変だと話してました。そこで、皆さん目を向けているのが関西です。当然、首都圏の機能を関西にもっていかないと太刀打ちできないだろうと思っています。

かつて北海道独立王国論というのがありました。北海道は1人の方が残念ながらお亡くなりになりました。そして今回の災害で漁業などの直接的被害は出ましたが、津波による人的被害はありませんでした。ですから関西と同様に北海道は安全なんだ、元気なんだということで北海道独立王国論をぶち上げ、東京何するものぞと言うくらいの気合でやっていただきたいかっと思ひます。

1週間ほど前に仙台で余震がありました。しかし今後1カ月、2カ月、3カ月と言うスパン(間隔)の中で、北は東北、西は神奈川・静岡または中国まで余震があるかも知れないと言われています。その中で注目されてるのは、中部電



第37回 4月20日(水) 天候/晴

力の浜岡原子力発電所というのがあります。毎日新聞のコラム風社説の中で「中部電力の浜岡原子力発電所を止めていただきたい」と書いていらっしやいました。本来ならば、こう話をしっかりと1面で書くべきですが、コラムでしか書けないというところに問題があると思います。

コラムのなかで、浜岡原発と言うのは静岡県御前崎というところにあり、運転中の原子炉の3基のうち2つは福島と同じ沸騰水型というタイプで、海岸の低位置に立っている。何よりも問題なのは、東海地震の予想地震域の真上にあるということです。もし、直下型または近海の浅いところで、同レベルの巨大地震が起きた時どうなるのか。地震学者の石橋さんの話を引用して「最悪の場合、放射能が首都圏に流れ1千万人以上が避難しなければならない。日本は首都を喪失する。在日米軍の横田・横須賀・厚木・座間などの基地も機能を失い、国際的に大きな軍事的不均衡が生じる」といった話をしています。

そういった意味で、今私たちブンヤが何をしなければならないのかということです。

もちろん被災に合われた方々の復興に向け、再興に向けて取り組んでいらっしやる姿、そして留萌からも留萌市、商工会議所さんも受け入れプロジェクトを立ち上げ被災地の方の意に沿った支援をしていきたいと言ってらっしやること。また、振興局でも20日間に支援物資の善意がたくさん寄せられたことを伝えるのは当然です。

さらに我々ブンヤはどうするべきかということ、言うべきことは言わなくてはならないというこ

とです。

私は、留萌におりますので商工会議所頑張ってるな、ロータリーも頑張ってるな、留萌市も頑張ってるなということを読者の方にお伝えしていこうと思っております。

例会プログラム【5月】

5月4日(水) 法定休会(みどりの日)

5月11日(水) 新ロータリーソング

「いざ友よ」「友達になろう」

5月18日(水) 来賓卓話 村山ゆかり様

5月25日(水) 会員卓話「我が生い立ち」

阿部 洋一 会員

堀 光輝 会員